

## (5) コンピュータゲーム

### コンピュータゲームをする子は半数以上。

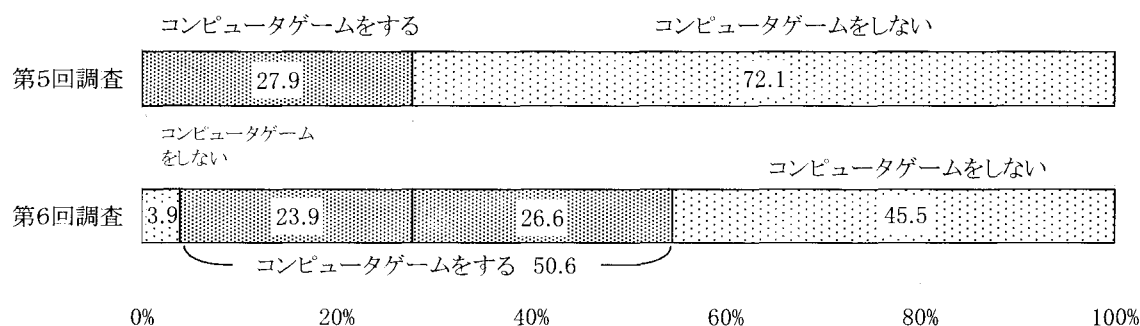
テレビゲームや携帯型ゲームなどの「コンピュータゲームをする」子は50.6%で、第5回調査の「コンピュータゲームをする」子と比較すると、22.7ポイントの増加となっている(図11)。

ふだんの日と日曜日を比較すると、日曜日に「する」子は48.0%とふだんの日より多く、男児の場合は53.3%と半数を超えている。コンピュータゲームをする時間は、ふだんの日、日曜日ともに「1時間未満」が多くなっている。(表8)

また、ふだんの日と日曜日の組合せをみると、「ふだんの日」、「日曜日」ともにする子は37.0%、「日曜日」のみする子は10.8%、「ふだんの日」のみする子は2.0%となっている(表9)。

ふだんの日にテレビを見る時間別にコンピュータゲームをする子の割合をみると、テレビを見る時間が長い子ほど、コンピュータゲームを「する」割合が高くなっている(図12)。

図11 コンピュータゲームをする子の変化



- 注：1) 第5回調査と第6回調査の「コンピュータゲームをする時間」の回答を得た者(総数 36,844)を集計。  
 2) 第5回調査は「ふだん1日にコンピュータゲームでどれくらい遊んでいますか」として調査した。第6回調査は「コンピュータゲームを1日にする時間」を「ふだんの日」と「日曜日」に分けて調査した。  
 3) 第6回調査の「コンピュータゲームをする」は、「ふだんの日」、「日曜日」のいずれか又は両方する者である。「コンピュータゲームをしない」は、「ふだんの日」、「日曜日」の両方しない者である。

表8 ふだんの日一日曜日、性別にみたコンピュータゲームをする時間

	総数	コンピュータゲームをする時間					不詳	
		コンピュータゲームをしない	コンピュータゲームをする	1時間未満	1～2時間未満	2～3時間未満		3時間以上
ふだんの日 総数	100.0	60.0	39.2	29.3	8.4	1.1	0.3	0.8
男児	100.0	54.3	44.9	30.6	12.1	1.8	0.5	0.8
女児	100.0	66.2	33.0	28.0	4.5	0.5	0.1	0.8
日曜日 総数	100.0	51.0	48.0	29.7	13.4	3.5	1.4	1.0
男児	100.0	45.7	53.3	28.6	17.3	5.1	2.3	1.0
女児	100.0	56.8	42.2	30.9	9.2	1.7	0.4	1.0

注：第6回調査の回答を得た者(総数 38,535(男児 20,013、女児 18,522))を集計。

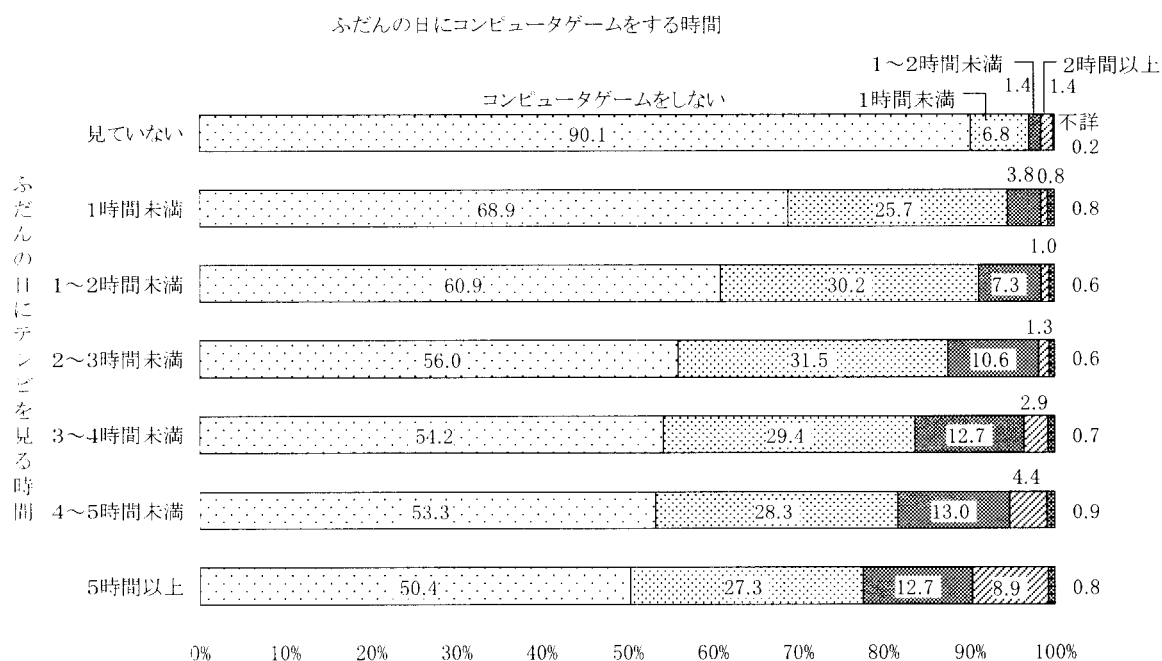
表9 コンピュータゲームをする日の組合せ

(単位:%)

		ふだんの日			
		総数	コンピュータゲームをしない	コンピュータゲームをする	不詳
日曜日	総数	100.0	60.0	39.2	0.8
	コンピュータゲームをしない	51.0	49.0	2.0	0.0
	コンピュータゲームをする	48.0	10.8	37.0	0.1
	不詳	1.0	0.1	0.2	0.7

注: 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。

図12 ふだんの日にテレビを見る時間別にみたコンピュータゲームをする時間



注: 1) 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。

2) ふだんの日にテレビを見る時間の総数に対する割合は以下のとおりである。

「見えていない」	1.1%
「1時間未満」	15.9%
「1～2時間未満」	39.9%
「2～3時間未満」	28.0%
「3～4時間未満」	10.5%
「4～5時間未満」	3.2%
「5時間以上」	1.0%

## (6) 子どもの接し方

約7割の子が「自分の気持ちを言葉で伝える」などを「よくする」。

子どもが父母との接し方で「よくする」割合が高い接し方をみると、「自分の気持ちを言葉で伝える」(71.2%)、「一緒に遊びたがる」(69.9%)、「「なぜ」、「どうして」と疑問に思うことを質問する」(69.7%)、「親の体に触れたがる」(69.3%)、「その日の出来事などを親に話しをする」(67.3%)と約7割となっている。

一方、「抱っこやおんぶをせがむ」は37.8%、「友だちやきょうだいを持っている物をねだる」は31.0%となっている。(表10)

表10 子どもの父母との接し方

	総数	よくする	ときどきする	ほとんどしない	不詳
その日の出来事などを親に話しをする	100.0	67.3	28.9	2.7	1.2
「なぜ」、「どうして」と疑問に思うことを質問する	100.0	69.7	26.9	2.5	0.9
一緒に遊びたがる	100.0	69.9	27.6	1.5	1.0
友だちやきょうだいを持っている物をねだる	100.0	31.0	46.9	20.5	1.6
自分の気持ちを言葉で伝える	100.0	71.2	25.9	1.9	1.0
親の体に触れたがる	100.0	69.3	26.9	2.9	0.9
抱っこやおんぶをせがむ	100.0	37.8	43.2	18.0	0.9

注:第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。

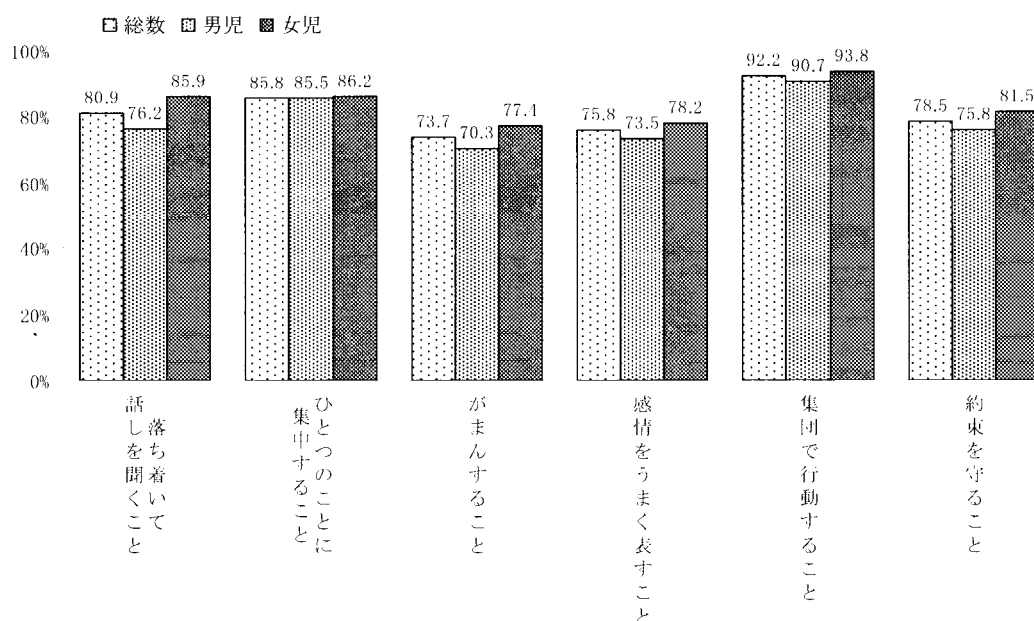
## (7) 子どもの行動

子どもの行動で「できる」と回答のあった割合は女兒の方が高い。

子どもの行動で「できる」と回答のあった割合は、「集団で行動すること」が92.2%、「ひとつのことに集中すること」が85.8%、「落ち着いて話しを聞くこと」が80.9%となっている。

性別にみると、男児より女兒の方が割合が高くなっている。(図13)

図13 性別にみた子どもの行動で「できる」と回答のあった割合



注:第6回調査の回答を得た者(総数 38,535(男児 20,013、女兒 18,522))を集計。

(8) 手伝い

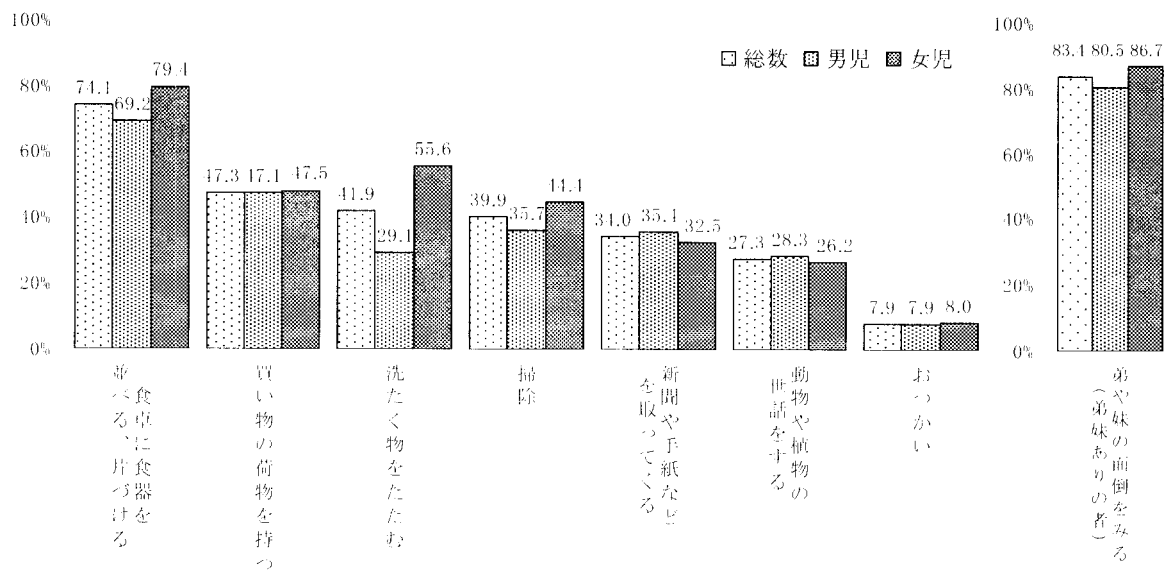
「食卓に食器を並べる、片づける」が最も多い。

手伝いの状況（複数回答）をみると、「食卓に食器を並べる、片づける」が74.1%と最も多くなっている。

性別にみると、男児は「食卓に食器を並べる、片づける」(69.2%)、「買い物の荷物を持つ」(47.1%)、「掃除」(35.7%)の割合が多く、女児は「食卓に食器を並べる、片づける」(79.4%)、「洗たく物をたたむ」(55.6%)、「買い物の荷物を持つ」(47.5%)の割合が多い。

また、弟妹がいる場合では「弟や妹の面倒をみる」が83.4%となっている。(図14)

図14 手伝いの種類（複数回答）



注: 第6回調査で回答を得た者(総数 38,535(男児 20,013、女児 18,522))を集計。ただし、「弟や妹の面倒をみる」の数値は、弟妹ありの者(総数 16,128)を集計

### (9) 病気やけが

この1年間に「う歯〔むし歯〕」で病院や診療所にかかった子は36.2%

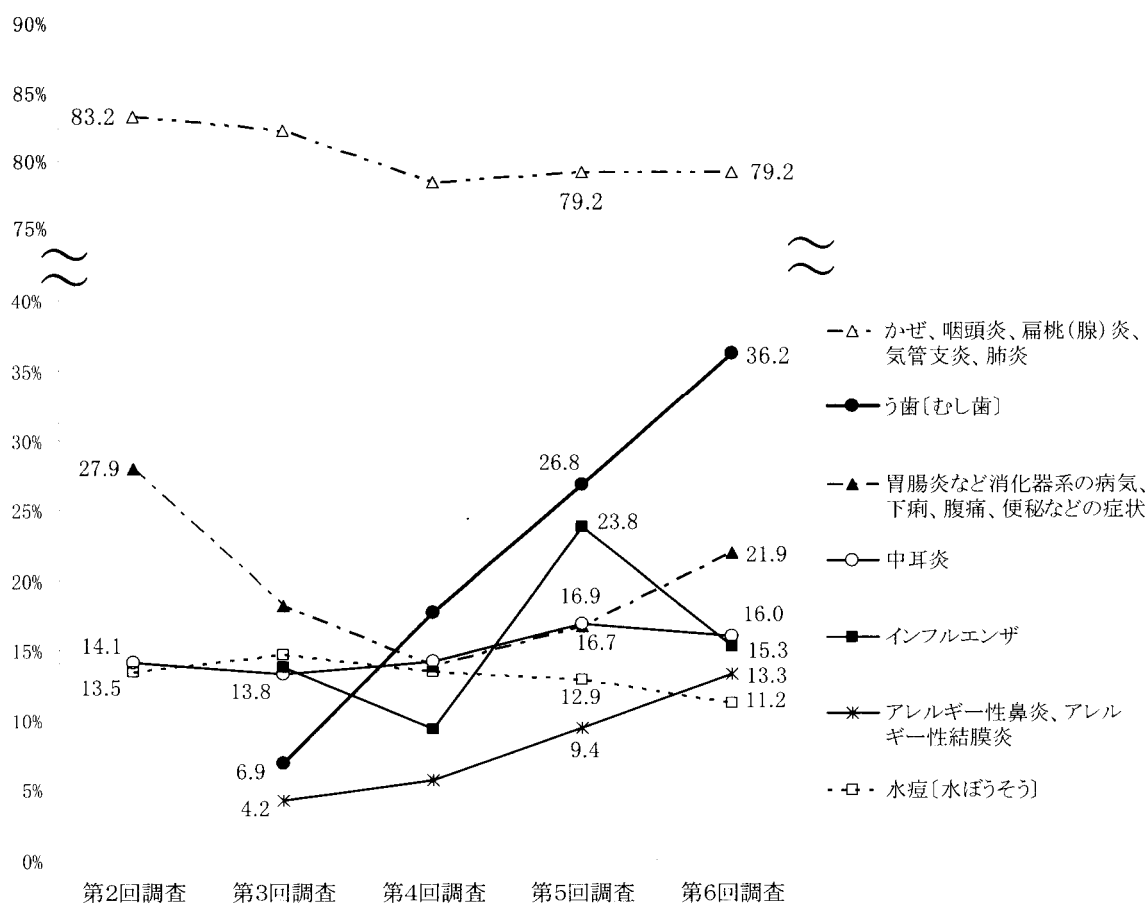
この1年間に病院や診療所にかかった主な病気やけが（複数回答）は「かぜ、咽頭炎、扁桃（腺）炎、気管支炎、肺炎」が79.2%と最も多く、次いで、「う歯〔むし歯〕」が36.2%、「胃腸炎など消化器系の病気、下痢、腹痛、便秘などの症状」が21.9%となっている。

第2回調査からの推移をみると、第2回調査以降「かぜ、咽頭炎、扁桃（腺）炎、気管支炎、肺炎」が約8割と最も多くなっている。

また、「う歯〔むし歯〕」は第3回調査の6.9%から、第6回調査の36.2%に大幅に上昇している。

（図15）

図15 病院や診療所にかかった主な病気やけが（複数回答）の推移



- 注：1）第2回調査から第6回調査まで回答を得た者（総数 35, 783）を集計。  
 2）「う歯〔むし歯〕」、「インフルエンザ」、「アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎」は、第2回調査では調査していない。  
 3）「かぜ、咽頭炎、扁桃（腺）炎、気管支炎、肺炎」は、第2回調査では「かぜ、気管支炎、肺炎」についてである。  
 4）「胃腸炎など消化器系の病気、下痢、腹痛、便秘などの症状」は、第2回調査では「下痢、腹痛、便秘」である。  
 5）第2回調査から第4回調査の「中耳炎」には、「外耳炎」を含む。

### 3 子育ての意識

#### (1) 父母の子どもとの接し方

父は子どもと一緒に「トランプやおもちゃなどで遊ぶ」「体を動かす遊びをする」を「よくしている」割合が高い。

父母の子どもとの接し方で「よくしている」割合をみると、母は「子どもと一緒に食事をする」が89.0%と最も多く、次いで、「積極的に子どもに話しかける」が73.3%となっている。父は「積極的に子どもに話しかける」が51.0%と最も多く、次いで、「膝に乗せるなどスキンシップをはかる」が45.7%となっている。

父母を比較すると、「子どもと一緒にトランプやおもちゃなどで遊ぶ」、「子どもと一緒に体を動かす遊びをする」は、父が「よくしている」割合が高く、これ以外はすべて母が「よくしている」割合が高くなっている。

また、「膝に乗せるなどスキンシップをはかる」を「よくしている」割合を弟妹の有無別にみると、父は「弟妹あり」45.9%、「弟妹なし」45.5%とほぼ同じとなっているが、母は「弟妹あり」48.5%、「弟妹なし」69.9%と、「弟妹なし」の方が21.4ポイント高くなっている。(表11)

表11 父母の子どもとの接し方

(単位:%)

	総数	よくしている	できるだけ するように している	していない	(再掲)よくしている		
					弟妹あり	弟妹なし	
母の 子ども との 接し 方	子どもと一緒にトランプやおもちゃなどで遊ぶ	100.0	14.7	66.2	17.4	13.2	15.8
	子どもと一緒に体を動かす遊びをする	100.0	12.5	62.5	23.4	12.9	12.2
	子どもと一緒にお風呂に入る	100.0	71.8	18.3	8.6	75.4	69.2
	本や絵本の読み聞かせをする	100.0	34.3	51.5	12.8	37.0	32.3
	積極的に子どもに話しかける	100.0	73.3	24.0	1.2	72.1	74.2
	子どもと一緒に食事をする	100.0	89.0	9.2	0.5	89.6	88.7
	膝に乗せるなどスキンシップをはかる	100.0	60.9	33.8	3.9	48.5	69.9
	子どもをほめる	100.0	54.2	43.7	0.8	50.6	56.7
父の 子ども との 接し 方	子どもと一緒にトランプやおもちゃなどで遊ぶ	100.0	18.1	55.0	24.8	18.1	18.2
	子どもと一緒に体を動かす遊びをする	100.0	28.1	52.9	17.1	30.1	26.5
	子どもと一緒にお風呂に入る	100.0	35.5	48.7	13.9	38.0	33.7
	本や絵本の読み聞かせをする	100.0	8.2	36.5	53.3	9.5	7.1
	積極的に子どもに話しかける	100.0	51.0	40.6	6.5	51.5	50.7
	子どもと一緒に食事をする	100.0	37.0	52.3	8.9	36.2	37.6
	膝に乗せるなどスキンシップをはかる	100.0	45.7	42.7	9.7	45.9	45.5
	子どもをほめる	100.0	42.2	49.4	6.5	42.5	42.0

注：1) 第6回調査時に、「母の子どもとの接し方」については母と同居している者(母総数 38,201)、「父の子どもとの接し方」については父と同居している者(父総数 36,040)を集計。

2) 総数には子どもとの接し方「不詳」を含む。

3) 「弟妹あり」、「弟妹なし」の総数に対する割合は以下のとおりである。

母と同居している場合 「弟妹あり」42.0%、「弟妹なし」57.5%

父と同居している場合 「弟妹あり」43.3%、「弟妹なし」56.2%

## (2) 食事時に特に気をつけていること

食事時に特に気をつけていることは「遊びながら食べない」が多い。

食事時に特に気をつけていること（複数回答）をみると、「遊びながら食べない」が76.4%と最も多く、次いで、「あいさつをする（「いただきます」「ごちそうさま）」が72.5%となっている。一方、「テレビをつけない」は29.2%と最も少ない。

また、性別及びきょうだい構成別にみると、いずれも「遊びながら食べない」が最も多く、次いで「あいさつをする」が多くなっており、総数と同様の傾向となっている。（表12）

表12 性・きょうだい構成別にみた食事時に特に気をつけていること（複数回答）

	総数	食事時に特に気をつけていること(複数回答)							
		あいさつをする (「いただきます」「ごちそうさま」)	食べている ときの姿勢	お茶碗やは しの持ち方	食べ物を粗 末にしない	遊びながら 食べない	残さず食べ る	食事中に席 を立たない	テレビをつ けない
総数	(100.0) 100.0	72.5	65.0	50.0	64.8	76.4	54.8	58.1	29.2
男児	(51.9) 100.0	72.2	65.0	49.5	65.1	77.1	55.9	59.1	29.6
女兒	(48.1) 100.0	72.9	65.0	50.5	64.5	75.7	53.6	56.9	28.7
ひとり	(16.3) 100.0	75.0	62.2	48.5	61.0	75.3	46.2	54.3	23.9
弟妹のみ	(32.2) 100.0	74.3	64.7	46.9	67.9	78.8	57.3	60.8	33.6
兄姉のみ	(41.3) 100.0	70.2	65.5	52.3	63.1	74.9	54.3	56.7	26.8
兄弟姉妹あり	(9.7) 100.0	73.0	68.9	53.1	68.6	76.8	63.0	60.8	33.4

注：1) 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。  
2) 総数にはきょうだい構成の「不詳」を含む。

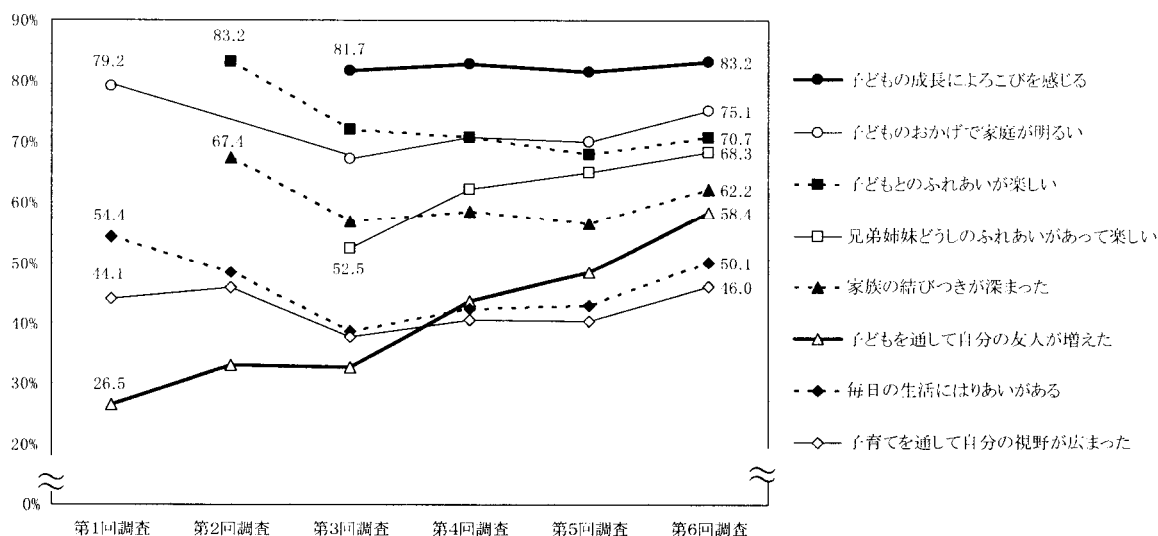
## (3) 子どもを育ててよかったと思うこと

「子どもの成長によるこびを感じる」の割合が引き続き最も高い。

子どもを育ててよかったと思うこと（複数回答）を第5回調査と比較すると、いずれの割合も高くなっている。「子どもの成長によるこびを感じる」は83.2%と第3回調査から引き続き最も高くなっている。

第1回調査からの変化をみると、「子どもを通して自分の友人が増えた」は、第1回調査の26.5%から、第6回調査の58.4%に大幅に上昇している。（図16）

図16 子どもを育ててよかったと思うこと（複数回答）の変化



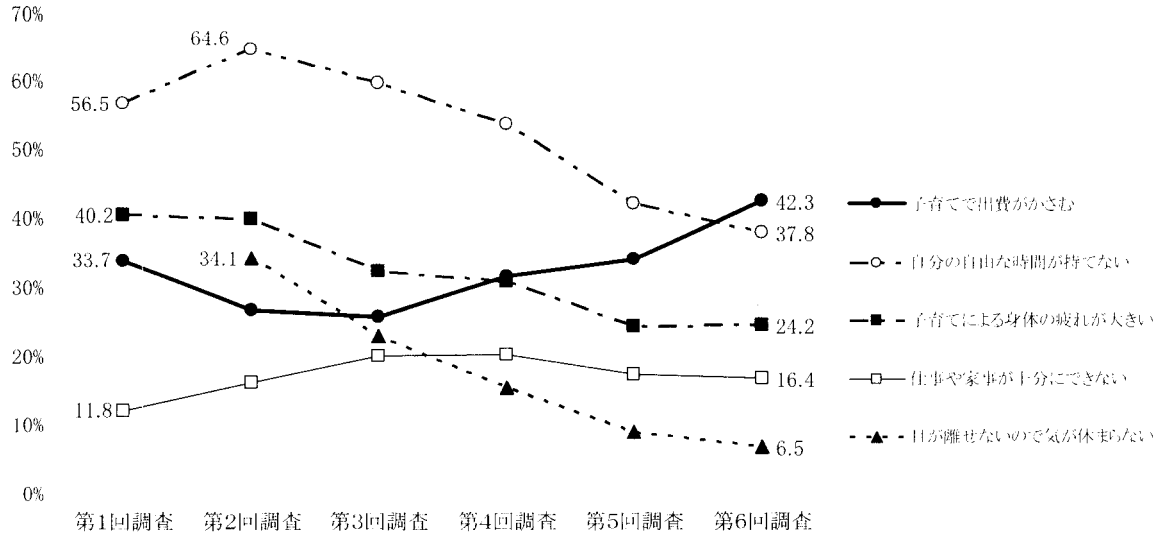
注：1) 第1回調査から第6回調査まで回答を得た者(総数 35,783)を集計。  
2) 「子どもの成長によるこびを感じる」、「兄弟姉妹どうしのふれあいがあって楽しい」は、第1回調査、第2回調査では調査していない。  
3) 「子どものおかげで家庭が明るい」は、第1回調査は「家庭が明るくなった」であり、第2回調査は調査していない。  
4) 「子どもとのふれあいが楽しい」、「家族の結びつきが深まった」は、第1回調査では調査していない。  
5) 「毎日の生活にはりあいがある」は、第1回調査は「生活にはりあいがあった」、第2回調査は「毎日の生活にはりあいがあった」である。

#### (4) 子どもを育てていて負担に思うことや悩み

「子育てで出費がかさむ」がさらに増加し、最も多くなった。

子どもを育てていて負担に思うことや悩み（複数回答）の変化をみると、「子育てで出費がかさむ」（42.3%）は大幅に増加して第1回調査以降初めて最も多くなり、次いで「自分の自由な時間が持てない」が37.8%となっている（図17、表13）。

図17 主な子どもを育てていて負担に思うことや悩み（複数回答）の変化



注：1）第1回調査から第6回調査まで回答を得た者（総数 35,783）を集計  
 2）「仕事や家事が十分にできない」は、第1回調査、第2回調査では「仕事や家事が十分にできない」である。  
 3）「目が離せないのが気が休まらない」は、第1回調査では調査していない。

表13 子どもを育てていて負担に思うことや悩み（複数回答）の変化

	(単位:%)					
	第1回調査	第2回調査	第3回調査	第4回調査	第5回調査	第6回調査
総数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
子育てで出費がかさむ	33.7	26.4	25.4	31.2	33.8	42.3
自分の自由な時間が持てない	56.5	61.6	59.4	53.4	41.8	37.8
子育てによる身体の疲れが大きい	40.2	39.7	32.1	30.5	24.0	24.2
気持ちに余裕をもって子どもに接することができない	・	・	・	23.0	26.2	23.9
子どもが言うことを聞かない	・	・	21.9	27.5	23.0	19.3
仕事や家事が十分にできない	11.8	15.8	19.8	19.9	17.0	16.4
しつけのしかたが家庭内で一致していない	・	・	9.2	11.7	11.2	11.5
子どもを一時的にあずけたいときにあずけ先がない	・	・	12.0	11.1	10.5	10.6
子どもについてまわりの目や評価が気になる	・	・	5.0	8.2	7.6	8.5
子どもの成長の度合いが気になる	・	・	7.0	7.5	7.2	7.8
目が離せないのが気が休まらない	・	34.1	22.7	15.1	8.7	6.5
配偶者が育児に参加してくれない	・	・	6.0	6.7	6.4	6.4
しつけのしかたがわからない	・	・	8.6	7.3	7.8	6.0
子どもが急病のとき診てくれる医者が近くにいない	・	・	3.4	3.4	3.7	3.9
子どもが病気がちである	3.3	6.3	4.0	3.8	4.4	3.5
子どもをもつ親同士の関係がうまくいかない	・	・	1.2	1.6	2.1	2.6
子どもが保育所・幼稚園に行きたがらない	・	・	・	2.5	2.4	1.5
子どもを好きになれない	・	・	0.3	0.4	0.5	0.4
その他	6.0	3.9	3.0	3.4	3.1	3.5
負担に思うことや悩みは特になし	19.7	12.2	13.0	12.1	15.5	15.6
不詳	0.5	2.1	0.7	0.9	2.1	1.8

注：1）第1回調査から第6回調査まで回答を得た者（総数 35,783）を集計。  
 2）「仕事や家事が十分にできない」は、第1回調査、第2回調査では「仕事や家事が十分にできない」である。

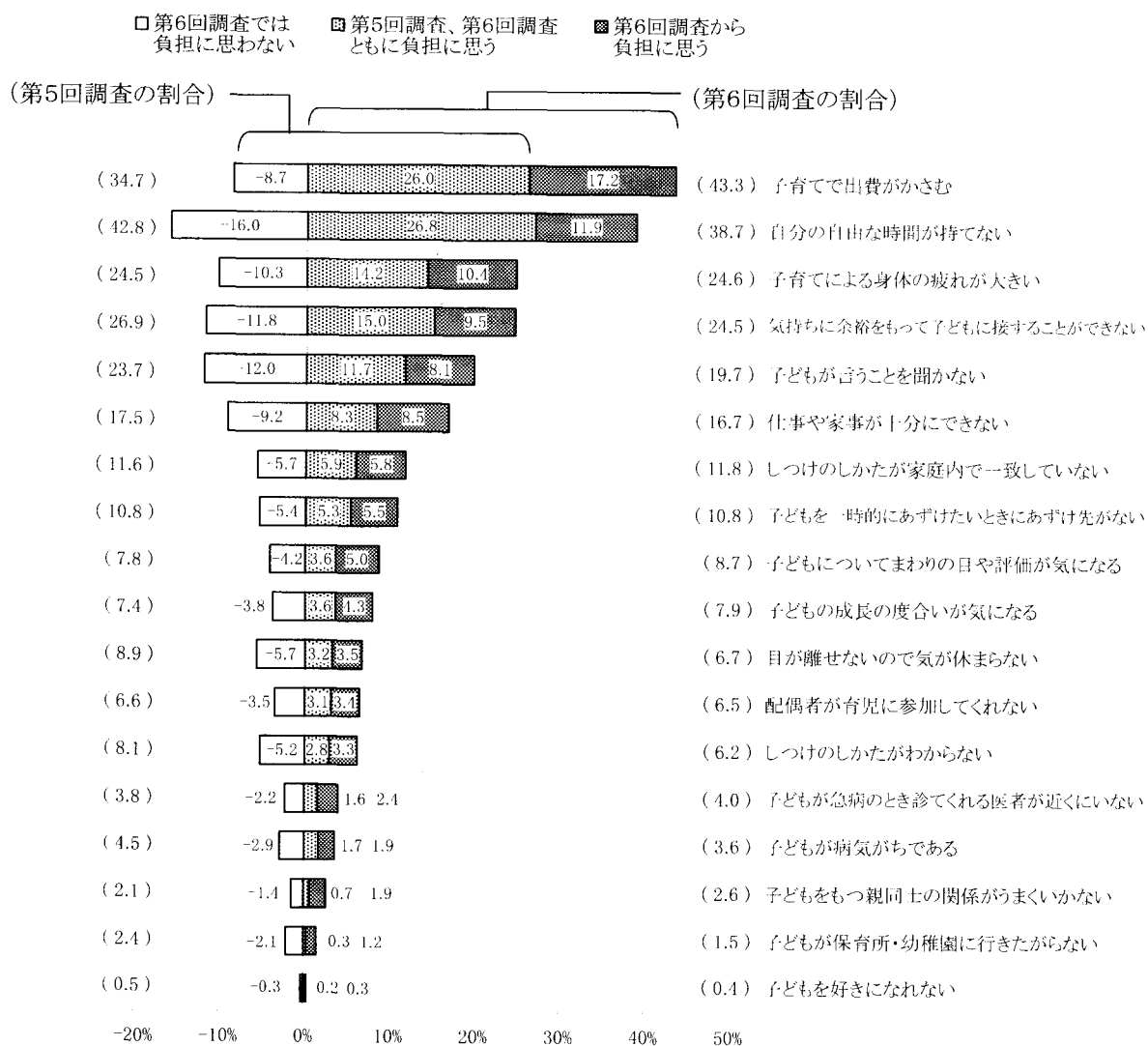


「子育てで出費がかさむ」を第5回調査からの変化で見ると、「第6回調査から負担に思う」が17.2%となり、「第6回調査では負担に思わない」が8.7%となっている。

一方、第5回調査まで最も多かった「自分の自由な時間が持てない」は、「第6回調査では負担に思わない」が16.0%となり、「第6回調査から負担に思う」は11.9%となっている。

子どもが成長するにつれて、負担に思うことを思わなくなったり、悩みの種類が変化している。(図18)

図18 子どもを育てていて負担に思うことや悩み(複数回答)の第5回調査からの変化



注：1) 第5回調査と第6回調査の「子どもを育てていて負担に思うことや悩み」の回答を得た者(総数 35,886)を集計。  
 2) 「第6回調査では負担に思わない」は、第5回調査で負担に思うと回答した者のうち、第6回調査では負担に思うと回答していない者である。  
 「第5回調査、第6回調査ともに負担に思う」は、第5回調査で負担に思うと回答した者のうち、第6回調査でも負担に思うと回答した者である。  
 「第6回調査から負担に思う」は、第5回調査では負担に思うと回答していない者のうち、第6回調査では負担に思うと回答した者である。

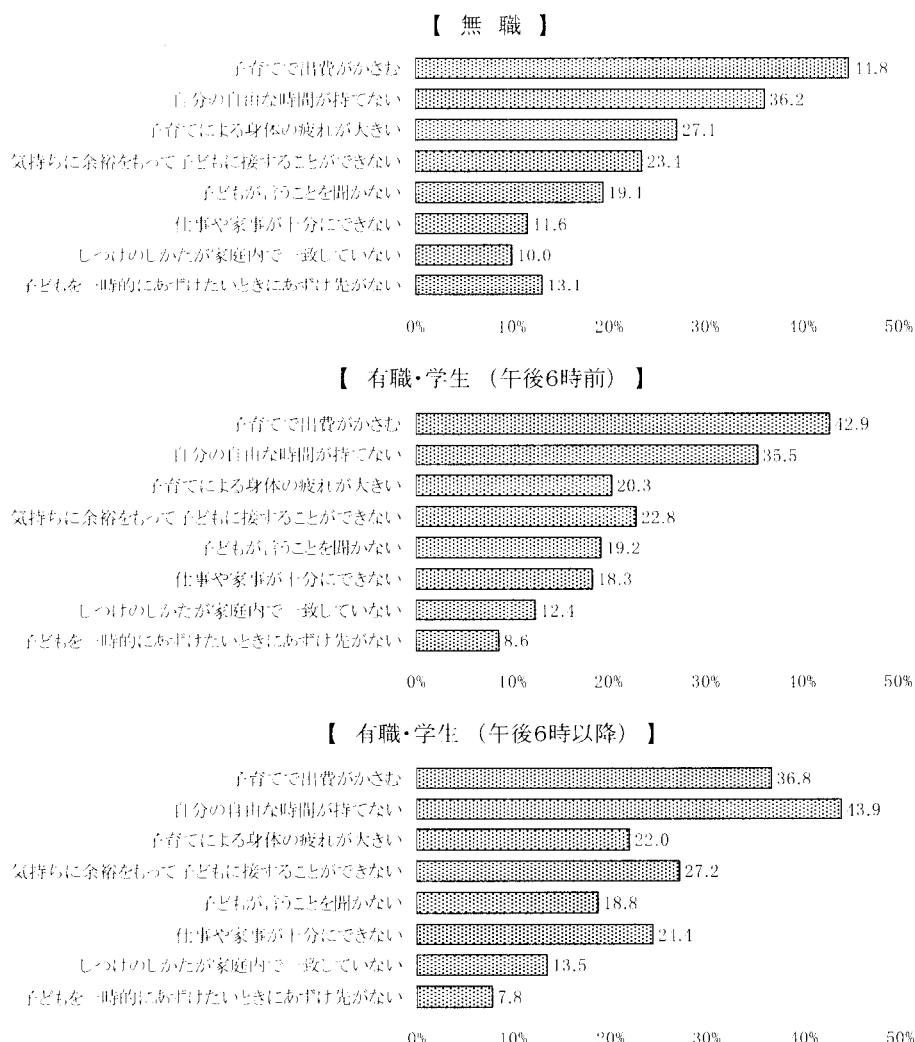
**母の就業の有無・帰宅時間により子どもを育てていて負担に思うことや悩みに差がある。**

母の就業の有無・帰宅時間別に主な子どもを育てていて負担に思うことや悩みをみると、母が「無職」では、「子育てで出費がかさむ」が44.8%と最も多く、次いで「自分の自由な時間が持てない」(36.2%)、「子育てによる身体の疲れが大きい」(27.1%)となっている。

有職・学生の帰宅時間が「午後6時前」では、「子育てで出費がかさむ」が42.9%と最も多く、次いで「自分の自由な時間が持てない」(35.5%)、「気持ちに余裕をもって子どもに接することができない」(22.8%)となっている。

また、帰宅時間が「午後6時以降」については、「自分の自由な時間が持てない」が43.9%と最も多く、「子育てで出費がかさむ」(36.8%)に続き、「気持ちに余裕をもって子どもに接することができない」(27.2%)が多くなっており、母の就業の有無や帰宅時間により、負担に思うことや悩みに差がでている。(図19)

図19 母の就業の有無・帰宅時間別にみた主な子どもを育てていて負担に思うことや悩み(複数回答)



注：1) 母と同居している、第6回調査の回答を得た者(総数 38,201)を集計。  
 2) 「無職」には「学生」を含まない。  
 3) 母の帰宅時間の区分及び総数に対する割合、母と同居している場合の回答者の総数に対する割合は以下のとおりである。  
 母の帰宅時間 「無職」46.7%、  
 「有職・学生(午後6時前)」(午前6時～午後6時前) 28.1%、  
 「有職・学生(午後6時以降)」(午後6時～午前6時前) 19.7%  
 回答者 「母のみ」92.6%、「父のみ」5.7%、「父母のみ」1.0%、  
 「その他の組合せ」0.3%、「不詳」0.4%

## (5) 子育て費用

子育て費用は増加している。

1か月の子育て費用をみると、「4万円」が22.6%、「3万円」が20.0%、「5万円」が19.8%となっている。

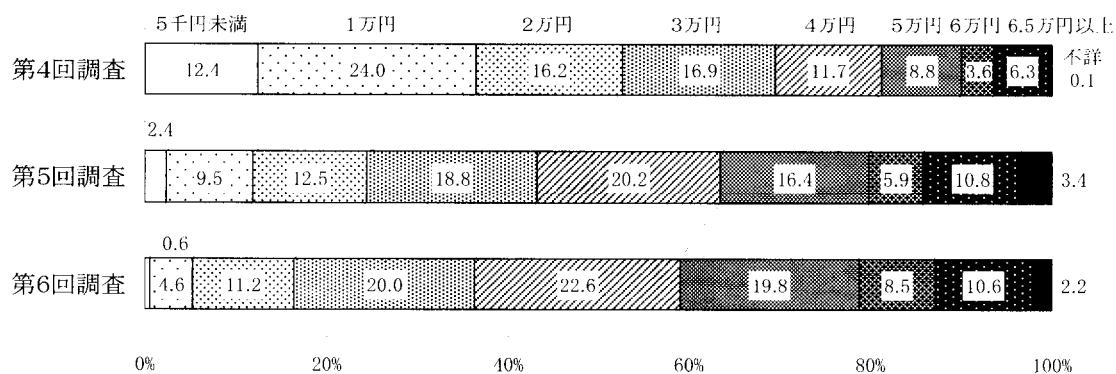
第4回調査からの変化をみると、「2万円」以下の割合が減少して、「3万円」以上の割合が増加している。(図20)

また、第6回調査の1か月の子育て費用別に子どもを育てていて負担に思うことや悩みで「子育てで出費がかさむ」と回答のあった者の割合をみると、「6万円」(52.6%)、「6.5万円以上」(53.0%)と、金額が高くなるほど割合が高くなっている(図21)。

保育所や幼稚園などの1か月の保育料・月謝をみると、「2～3万円未満」が40.1%と最も多く、第4回調査と比較すると、約4割であった「保育料・月謝なし」が第6回調査では3.1%に減少した(図22)。

1か月の習い事の費用をみると「5千～1万円未満」が24.3%と最も多く、「1～2万円未満」が16.1%となっている。これを1か月の子育て費用の金額別にみると、子育て費用が高くなるほど習い事の費用が高くなる傾向がある。(図23)

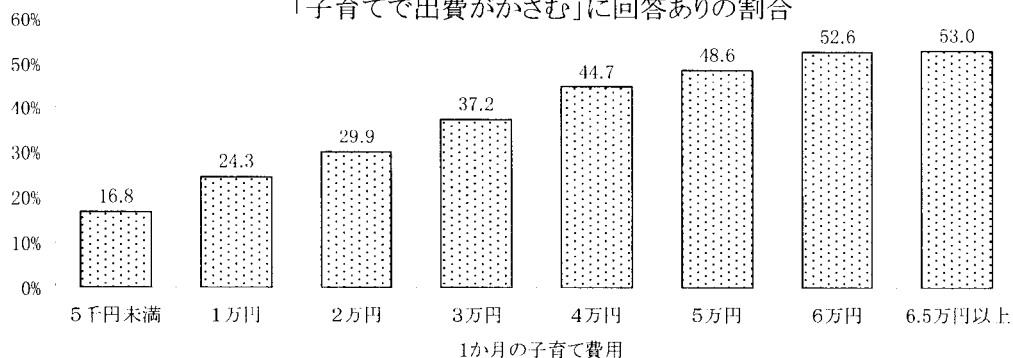
図20 1か月の子育て費用の変化



注：1) 第4回調査から第6回調査まで回答を得た者(総数 36,691)を集計。  
 2) 1か月間の子育て費用は、万円単位に四捨五入した金額を調査しており、区分は以下のとおりである。

「5千円未満」	5,000円未満	「4万円」	35,000～44,999円
「1万円」	5,000～14,999円	「5万円」	45,000～54,999円
「2万円」	15,000～24,999円	「6万円」	55,000～64,999円
「3万円」	25,000～34,999円	「6.5万円以上」	65,000円以上

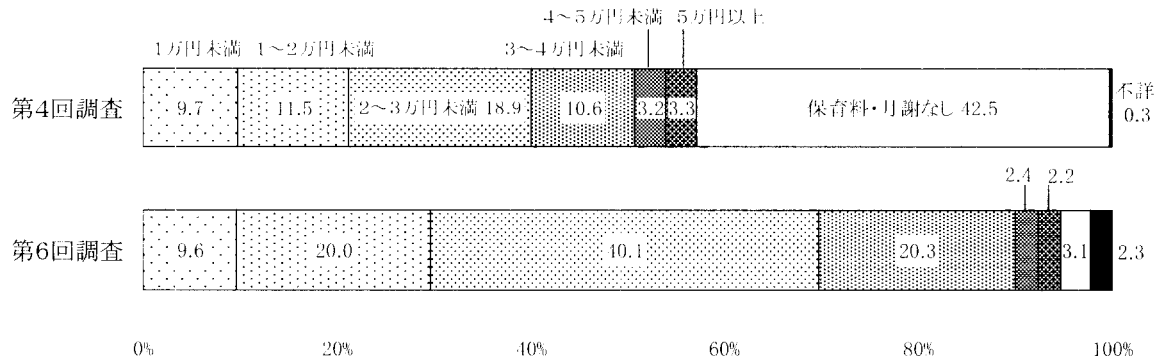
図21 1か月の子育て費用別にみた子どもを育てていて負担に思うことや悩みの「子育てで出費がかさむ」に回答ありの割合



注：1) 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。  
 2) 1か月間の子育て費用は、万円単位に四捨五入した金額を調査しており、区分及び総数に対する割合は以下のとおりである。

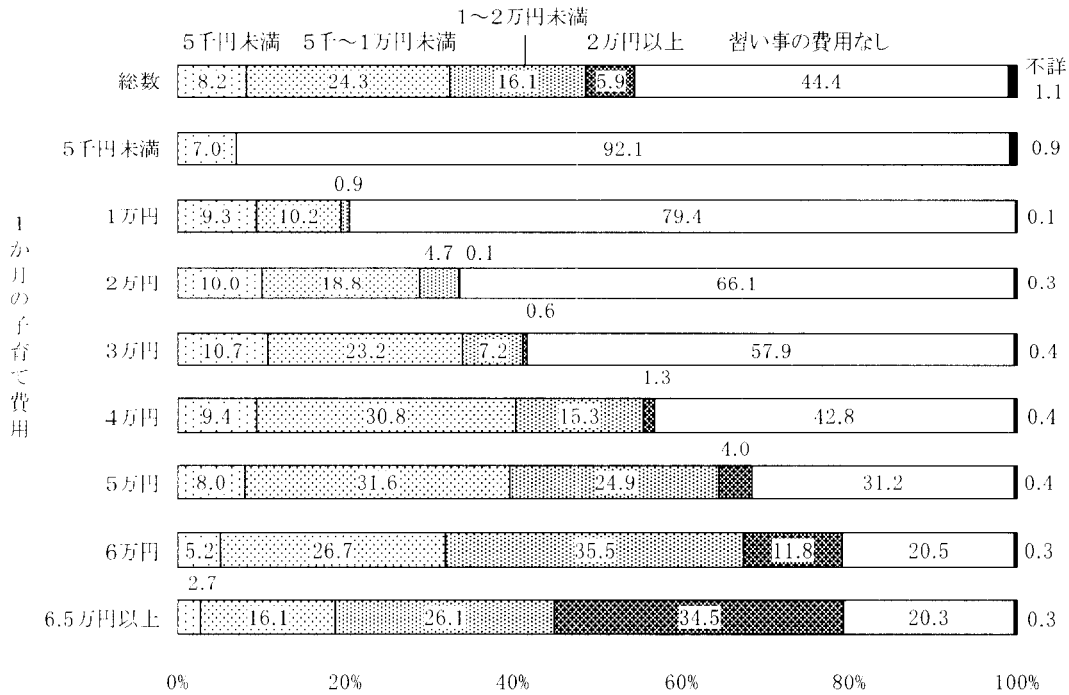
「5千円未満」	(5,000円未満)	0.6%	「4万円」	(35,000～44,999円)	22.5%
「1万円」	(5,000～14,999円)	4.7%	「5万円」	(45,000～54,999円)	19.7%
「2万円」	(15,000～24,999円)	11.3%	「6万円」	(55,000～64,999円)	8.5%
「3万円」	(25,000～34,999円)	20.0%	「6.5万円以上」	(65,000円以上)	10.5%

図22 保育所や幼稚園などの1か月の保育料・月謝



注：1) 第4回調査と第6回調査の回答を得た者(総数 37,932)を集計。  
 2) 第5回調査は保育所や幼稚園などの1か月の保育料・月謝は調査していない。

図23 1か月の習い事の費用



注：1) 第6回調査の回答を得た者(総数 38,535)を集計。  
 2) 総数には1か月の子育て費用「不詳」を含む。  
 3) 1か月間の子育て費用は、万円単位に四捨五入した金額を調査しており、区分及び総数に対する割合は以下のとおりである。

「5千円未満」	(5,000円未満)	0.6%
「1万円」	(5,000～14,999円)	4.7%
「2万円」	(15,000～24,999円)	11.3%
「3万円」	(25,000～34,999円)	20.0%
「4万円」	(35,000～44,999円)	22.5%
「5万円」	(45,000～54,999円)	19.7%
「6万円」	(55,000～64,999円)	8.5%
「6.5万円以上」	(65,000円以上)	10.5%